

議会だより

観光局設立へ

5年度一般会計補正予算



観光局設立準備施設

初の補正予算特別委員会を設置して審査

令和5年第3回議会定例会は6月13日から27までの15日間の会期で開催されました。今議会では、町側から5年度一般会計補正予算、条例の制定1件、一部改正2件、人事案件1件、報告1件などが提案され、全て原案のとおり受理、同意、可決しました。

第135号
令和5年8月24日
(2023)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 湯本 晴彦
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホームページは
こちらから



フェイスブックは
こちらから



もくじ

令和5年第3回定例会関連記事……………	26
一般質問……………	28
条例の制定・討論……………	39
管内視察報告……………	40
陳情・全員協議会・諮問……………	42
議員研修会等・編集後記……………	43

歳入歳出それぞれ2億7870万円を追加し、総額を74億9526万円とするものです。大型の補正予算となります。

5年度一般会計補正予算(第2号)

新町長による肉付^{※1}け補正予算となることから慎重を期すため、議会として初めてとなる特別委員会を設置しました。

特別委員会は、委員長に白鳥金次議員、副委員長に湯本君子議員を選出。議長を除く13人で構成し、6月15日の1日間で慎重に審査しました。

採決の結果、全会一致で可決すべきものとし本会議に送りました。

【歳入の主なもの】

国庫支出金

新型コロナウイルス

クチン接種事業負担金

等 9814万円

ふるさと寄附金

5000万円

ガバメントクラウド^{※2}

アンディング

1537万円

財政調整基金繰入金

1億1017万円

【歳出の主なもの】

山ノ内どんどん追加分

100万円

デマンド交通実証実験委託料

660万円

DX推進事業委託料

1816万円

地域活性化起業人

(総務課企画担当3人)

1650万円

観光局設立準備施設賃借

176万円

ふるさと寄附金費

業者委託料

1725万円

自動販売機リース料

232万円

価格高騰緊急支援給付金

(3万円×1400世帯)

4200万円

側溝修繕工事(8件分)

1630万円

空中写真撮影業務委託料

1178万円

上条地籍の特定空家解体

1314万円

人事案件

代表監査委員の選任

氏名 山本 政宏

(65歳・金倉)

任期 5年6月13日から

9年6月12日まで



ココが疑問

補正予算審査特別委員会

特別委員会審査での質疑、答弁の主なものは以下のとおりです。

地域活性化 起業者採用

問 総務課で採用予定の地域活性化起業者3人の仕事内容と経費、財源は。

答 民間企業に籍を置いたまま町に派遣で来ていたたく形になる。一人は、補助金活用を中心に各種プロジェクト等の財源づくり、運営のアドバイスのための人材。もう一人は、マーケティング・PR・広報の専門家。もう一人はPR広報用映像制作の専門家。人件費分は全額交付税措置される。

夏まつり 山ノ内どんどん拡充

問 まつり会場に自衛隊PRブースが出席するというが、その経緯は。

答 隊員募集事業を連携して実施している。自衛隊から活動を知っていただきたいとの話があり、今回、ブースを用意できると伝え、VR（バーチャルリアリティ）体験は、子どもも大人も楽しんでいただけのもので聞いている。日頃、スキー大会や災害援助でも協力

いただいている。

DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業

問 どういったことを想定しているのか。

答 庁舎内のWiFi環境整備などをすすめ、「行かない役場」「書かない役場」の実現を目指したい。財源はふるさと寄附金のガバメントクラウドファンディングで確保したい。

観光局設立準備室 設置

問 人員体制と費用総額は、

答 役場の担当係長と地域活性化起業者、地域おこし協力隊員2人の計4人。費用は概ね1474万円。うち3人分の人件費は交付税措置される。

問 湯田中駅前事務所まで構えて運営する必要性は、

答 駅前にもちようど3階建て1戸貸しの空き物件があり、鉄道の玄関口に観光案内所を、という町長の公約にも合致し、1階部分を観光案内所、2階部分は準備室として活用したい。

※本会議の討論についてはP39を参照

公開します 審議議案と議員の賛否 令和5年第3回定例会

上程議案	賛成：○ 反対：● 欠席：欠	結果	小田孝志	畔上恵子	小林仁	志鷹慎吾	塚田一男	湯本るり子	山本岩雄	徳竹栄子	高田佳久	渡辺正男	山本光俊	小林克彦	白鳥金次	湯本晴彦
全賛…全員賛成で可決・承認・認定・採択・同意 賛多…賛成多数で可決・承認・認定・採択・同意 賛少…賛成少数で否決・不承認・不認定・不採択・不同意																
令和5年度一般会計補正予算（第2号）	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度除雪車購入事業の売買契約の締結	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
山ノ内町長の給与の特例に関する条例の制定	賛多	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	
監査委員の選任	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
介護保険制度の改善を求める陳情書	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書	賛少	●	●	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	●	●	
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	賛多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長は採決に加わりません

ズバリ ここが知りたい

論戦

観光局の新規設立に向けて、小・中学校の教育環境問題、農業施策と河川整備、高齢者支援の充実、新東部浄水場と事業実施計画、野生鳥獣被害防止対策 など

6月14日、16日、19日の3日間にわたり行われ、登壇議員は10人、傍聴者は延べ23人でした。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

①	 山本 光俊	・3月定例会一般質問答弁について
②	 小田 孝志	・町長選挙における選挙公約について ・通学路交通安全について ・観光局の設置について
③	 渡辺 正男	・小・中学校の教育環境の現状をどう評価するか ・地域公共交通計画にどう取り組むか ・コロナ禍の期間、町財政はどう推移してきたか
④	 徳竹 栄子	・第6次山ノ内町総合計画について ・観光振興について ・教育について
⑤	 小林 仁	・町内小中学校の新型コロナウイルス感染症5類引き下げに関する対応について ・町内移住推進に関して ・町長・副町長・教育長から見た山ノ内町の魅力やポテンシャル、また、活かし切れていないと思われる所は
⑥	 塚田 一男	・農業施策について ・河川整備について ・交通安全対策について
⑦	 志鷹 慎吾	・学校統合にあたって ・温泉公園について ・県外コンビニでのマイナンバーカード非対応について ・スキー修学旅行について
⑧	 畔上 恵子	・高齢者支援の充実について ・带状疱疹ワクチン接種への助成について ・物価高騰によるLPガス料金の負担軽減策について
⑨	 湯本るり子	・小学校統合問題について ・子育て支援のまちづくりについて ・道路の管理について
⑩	 白鳥 金次	・学校教育について ・野生鳥獣被害防止対策について ・水道施設について ・県道宮村湯田中停車場線について

公務員の守るべき倫理の徹底を

総務課長—様々な形で人材育成につとめる

過去の不適切な運営

【質問】 ある時期の観光連盟は不適切な運営が常態化していた。現在は改善されているが過去の例を挙げると、視察受け入れや予約紹介など特定の事業者に優先的な誘導、宣伝事業に至っては地域ではなく特定の事業者へ誘因・セールの場として利用されており、町民から「特定の事業者に連盟職員や町関係者が入り浸っていておかしいんじゃないか」という苦情がきていた。ご存知か。

【町長】 少し聞いています。

観光経済新聞への訪問・発言は適切か

【質問】 観光経済新聞の取材記事はどんな経緯で、誰が行ったか。

【町長】 紹介いただいた町内



やまもと みつとし
山本 光俊

※DMO：地域の多様な関係者も巻き込みつつ科学的アプローチをとり入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。



なぜ検討段階で事務所を「外部」に設置しなければならないのか

整を行っており、日本政府観光局、長野県観光部、長野県観光機構などと協力し活動してきた。現状十分機能していると考え。法人化を含め足りない部分を現行組織に補完する検討は。

【町長】 それらを含め準備室で検討していきたい。

【質問】 準備室は観光局準備室という観光商工課の新しい係という位置づけだが、なぜ外部に事務所を構えないければならないのか。

【町長】 湯田中駅にわかりやすい観光案内所を設置し、観光連盟の窓口として事務所を構える方法をとりたいと思っている。

【質問】 準備室は観光局の設立に向けて精査検討する場所と認識しているが。

【町長】 あくまで準備室。設立に向けて検討していく。

イメージは大阪観光局との記事掲載

【質問】 観光局のイメージは大阪観光局と述べているが。

【町長】 規模が違うので参考にできる所は参考にし、周辺のDMOも参考にしている。

【質問】 大阪観光局には町内事業者と大変懇意で、その事業所のアドバイザーとして紹介されていた方がいる。町では以前この方を観光大使に任命していたがそれが明るみになり解任したと認識しているが。

【観光商工課長】 その通り。

【質問】 以前の観光連盟のようになるのではと大変不安になる。行政は平等性、公平性、整合性、透明性、そして倫理の上に立って運営されるよう強く要望する。

平等性、公平性、整合性、透明性、倫理。「言うは易し、行うは難し」を強く感じる今日この頃です

山本光俊のつぶやき

選挙公報に記載された公約6項目の優先順位は



おだ たかし
小田 孝志

※1 シビックプライド：生まれ育った地域に限らず、自身が思いを寄せる特定の地域に誇りを持ち、その地域をより良くしていこう、地域に貢献していこうという思い。

※2 協議会：町道湯田中夜間瀬線歩道設置協議会。上条区、西部協議会、地元町議、町により構成される。

町長―人口減少に歯止めをかけるのが最重要課題

新しいまちづくりに向けて

質問 私も提案したいことはたくさんあるが、二元代表制の中で良いまちづくりとなるよう切磋琢磨・自己研鑽によりつとめていきたい。町長の掲げる公約の優先順位は。

町長 公約の項目のどれも重要課題と捉えているが、結果が出るまで時間がかかることから、まず力を入れていきたいのが、人口減少に歯止めをかけた。次に教育を含めた子育て環境の魅力づくりと経済活性化を最優先事項としつつも、全

ての施策をリンクさせながらすすめたい。

質問 国では「こども家庭庁」が設立された。人口減少・少子化等の問題もあり、町でも独立した組織の設置が必要と思うが。

町長 子どもに関しては、一元対応できるような課を設置すべく、セクションをしっかりと機能させるよう、窓口対応も含めて検討してすすめている段階。

町制施行70周年に向けて

質問 昭和30年に1町2村が合併し、令和7年には町制70年となるが式典・イベ

ントの考えは。

町長 歴史を踏まえつつ、これからの未来を担う子どもたちのシビックプライドの醸成につながることを目的とし、各種事業の検討を

行いたい。

質問 小学校統合を見据えた通学路の設定、安全対策として

質問 中学校正門や横断歩



―子育て環境の魅力づくりとして参考にした施設―
中野市子育て支援拠点施設 愛称：HUBLIC

道に信号機設置の考えは。

町長 県公安委員会が設置するもの。要望が整ったらお伝えする。

質問 歩道未整備箇所について新たな設置の考えは。

町長 地元の協力が是非でも必要。まずは地元で合意形成をはかつて、教育委員会とも調整し、協議会の中で検討をすすめる。

夏まつりの再開は

質問 4年ぶりの再開となる。バスを準備し集まることは大変だが、交流の場でもあり期待している。イベント内容と概要や予算は。

町長 昨年の花火に加え、子どもたちが楽しめること、地域の皆さんが地元の美味しいものを楽しめることを

2年後は町制施行70周年です。心に残るイベントを開催して、みんなで町を盛り上げよう！！

小田孝志のつぶやき

テーマに、各種団体とも連携して8月12日に、やまびこ広場を会場に計画。予算は510万円。

観光局の設置は

質問 新たに設置を考えている観光局の概要は。

町長 これからの観光振興は、意思決定の迅速さ、フットワークを生かした活動、独自性と時代にマッチした企画、情報発信が必要。窓口の一元化、組織の強化と合理的な運営、効率・効果的な事業推進を行い、活力のある町の形成を目指すため、仮称山ノ内町観光局を設立したい。令和6年度から事業開始に向け観光商工課内に準備室を設け、事業内容や組織体制を検討する。

統合小学校整備計画に変更はないか

教育長—魅力ある学校教育、財政面の議論も必要

教育長

小学校統合準備委員会、基本方針に基づいて3月にまとめた整備計画案をもって、今年度当初から住民の皆様への説明を実施する予定だったが、3月議会での議論や、町長が代わったことも踏まえて、町が目指すべき魅力ある学校教育について、また、財政面についても、本格的な議論が必要と認識している。町民への説明と意見聴取の方法や内容について、改めて準備をすすめている。

1学年2学級

は必要か

質問 1学年で2学級必要ということと小学校統合議論がすすめられてきているが、人数が少なくて支障が出ている部分の解決・改善策はそれしかないのか。

教育長

これまでの議論も確認しながら、町民、また有識者の意見をいただきながら、適正規模について、本当に20人から30人の2学級という方法論しかないのかどうかも含めて、丁寧な議論をしていきたい。

町長

必ずしも2学級なればいけないとは思っていない。授業の内容によっては、少人数のほうがしっかりと勉強できるという科目もあるし、大勢のほうが社会性、コミュニケーション能力を高められるという科



「給食センターを除いた敷地だけでは町道湯田中夜間瀬線との接続が不可能」(整備計画案より)

目もある。魅力のある教育をどうつくるかということろをすすめるながら、町民との合意形成を取っていききたい。英語教育に関しては、少人数のほうが勉強しやすいところもある。言語能力を身につけるという視点で英語脳をつくる、勉強という形の英語ではなくて慣れ親しんでいく英語教育ができれば、今すすめている教育プラスアルファで英語をしっかりとできるのではないかと。そういう方法も模索していきたい。

1校統合の必要性、緊急性はあるか

質問 プールもなく、2億円もの借金が残る給食センターは潰して、移転・新設するという、大変無理のある計画。新しい給食センター

の借金も返していかなければいけない。そこまですて統合する必要性、緊急性はどこにあるのか。

教育長

整備計画案は、これまで長きにわたる議論の上でできたものと理解している。しっかりと尊重したい。その上で、保護者や町民の方々、非常にいろいろなアイデアをお持ちということも分かってきたので、できる限り皆様が満足できるように議論の場をつくることを一番大事にしてすめたい。統合する、しないはあくまでもひとつの方法論。当事者である子ども、保護者、先生方の意見を大切にしながら、安全安心で楽しい学校ができるように議論をすすめていきたい。



わたなべ まさお
渡辺 正男

4年ぶりの志賀高原杯卓球大会が無事終了。山中卓球部員、OBの高校生、大学生たちの協力に感謝

渡辺正男のつぶやき

3 観光地一体の取り組みを



とくたけ えいこ
徳竹 栄子

※DMO：地域の多様な関係者も巻き込みつつ科学的アプローチをとり入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。

町長—窓口一元化、観光局を設立する

第6次町総合計画の受けとめは

町長 約60ある各種計画の最上位とし、町の将来像を描いたものと理解する。

質問 町長が描いている施策をどうすすめるか。

町長 継承し人口減少、少子高齢化対策など時代に合った事業を選択し、新たな施策を盛り込んでいく。

観光局の必要性に向けて

質問 ある観光協会に地域が違つという理由で町公社作成の「そばパンフレット」の設置を拒否された。

どう思うか。

町長 非常に悲しい。一丸となつて観光活性化の体制づくりが必要と考える。

質問 3年度、北志賀と一部の平地温泉の両組織が同様の野猿公園ルート観光シャトルバス運行実施。また志賀高原山の駅までの要望もあった。連携の不一致の結果をどう思うか。

町長 地域の枠を超えたタイアップ・連携が必要。各地域を周遊する観光ルートの構築も考えていきたい。

『稼ぐ力』DMO※組織登録に向けて

質問 観光局設立準備に外



1階観光案内所・2階観光局設立準備室
(湯田中駅前)

部人材、地域おこし協力隊、地域活性化起業家の登用に

は親身に取り組む人材を。

町長 プロフェッショナルな知見を持ち、経験豊富で活

性化のノウハウを持つ心ある方を人選する。

質問 多様な関係者の合意

形成が必要と考えるが。
町長 準備室を設け各組織

などと調整し模索していく。
質問 お客様目線で観光地づくりの舵取りとして戦略を立て実行する観光局になることを切望する。

小学校統合の行方は

町長 児童・生徒数の推移などを考慮し魅力ある学校のあり方を示す必要がある。

教育長 コスト、財源など本格的に議論していく。統合をしないことではない。

質問 統合問題は平成26年から現在約10年議論している。保護者の不安解決のためにも期限を定める必要は

町長 保護者・関係者の理解と意見を聞き本年度内の決定を目標とする。

英語教育の強化を

町長 英語は言語である。

7月は各地で水害多発。燃料・物価高騰が続く。人件費上げても人手不足。新型コロナも不安。めげずに頑張ろう

徳竹栄子のつぶやき

親しみ、慣れる環境で英語力を磨く方法をしっかりとすすめていきたい。

教育長 魅力ある学校を念頭に英語教育に長けた自治体を参考にすすめていく。

質問 国際友好交流都市、アメリカバイル町と長期ホームステイなど交流の体制づくりの考えは。

町長 小中学生の交流を考えている。バイル町へ出向き下地づくりをしたい。

奨学金制度の拡充を

質問 外国留学にも対応する考えは。

町長 人材育成の観点からも子どもたちの夢をサポートする制度を考えたい。

教育長 財源の問題もあるが町民の理解を得ながら前向きに考えていきたい。

山ノ内町の魅力やポテンシャル、愛情は？

町長—山ノ内町は、ポテンシャルの宝庫

理事者が思う 山ノ内とは

町長 山ノ内町はポテンシャルの宝庫で、志賀高原、北志賀高原の自然、スキー場、雪質、各温泉郷の存在と泉質、果樹の育成環境とその味、スノーモンキーも含めて他にはない魅力がたくさんある。活かしきれないという視点では、今までのようなスキー場ではなくリゾートとしてオールシーズン化もすすめなければならぬ。町内飲食店が地産、地元の食材をあまり売りにしていないのではないかと。ホテルなどのデザイナーにも地元のかだものを活用してもらいたい。山ノ内町としても組織をしっかりとつくり、山ノ内町一丸となつて国内外にプロモーション

ンしていくべき。

副町長

全ての面で、幅広い分野で資源が非常に豊かな町。人材面では町長をはじめ、多くのオリンピックを輩出している。これはもちろんですが、最近では国内の陸上大会で、町の出身者が優勝するなど、スノースポーツ以外にも活躍して

いる若者がいる。また、スポーツ以外の様々な分野において、国内外で多くの町出身者が活躍していると聞いている。一つひとつの資源いけば点みたくないものが、持つ強みとか価値を結んで線にしていき、それを地域や分野を超えた連携を強化しながら、面として町全体

に広げていくオール山ノ内町全体で魅力や価値を高めしていくことが必要。

教育長

山々を望む景色の素晴らしさと空の広さに率直に感動する毎日。役場前に広がるリンゴ畑とその先に見える高井富士や北信五岳の日々の変化には、本当に飽きることがない。山ノ

内町で感じた素晴らしさのもう一つは、暮らす人々の思いの強さ、熱量のようなもの。子どもも大人も自分の価値観や考え方にこだわりの持って日々生活していること、一見頑固のようでも納得するまで議論しようとする姿には、強さと同時に町の未来への希望を感じる。教育長として教育現場の先生方、保護者、地域の皆様との信頼関係を築きながら、山ノ内町の子どもの育ちと学びの環境づくりが県内外から高く注目・評価されるよう尽力したい。山ノ内町のファンの一として、様々な機会に山ノ内町の環境と教育の素晴らしさを積極的に発信していきたい。



山ノ内町の空は広い！



こばやし ひとし
小林 仁

※ポテンシャル：潜在すること。また、可能性としての力

初選挙、初当選。
新時代に向けて自分らしさを見失わず精一杯頑張りたい。
未来は変えられる！

小林 仁のつぶやき

泡貝川あわかいの土砂堆積への対応は

町長—災害危険を考え、優先対策を県に要望したい



つかだ かずお
塚田 一男

※1 浚渫（しゅんせつ）：川底をさらって土砂を取り除くこと。

※2 がんばる農業応援資金利子助成金：農業経営の近代化や規模拡大、運転資金等経営に関する資金をJAなどの志賀高原ブロックから借入したとき、町とJAで利子助成をする制度。

※3 がんばる農業就農奨励金：町内に新たに就農した担い手に就農奨励金を交付する制度。

玉村、足立の花火見学ツアーを4年ぶりに実施。夏の夜空が美しく輝き、当町の夜の賑いを瞼に重ねた

塚田一男のつぶやき

【質問】 泡貝川における土砂堆積の状況は。

【町長】 上条和田からよませ保育園間に多く堆積していることは承知している。現在、県では防災・減災国土強靱化のための5か年加速化対策での中小河川における河床整備をすすめる中、笹川や伊沢川などでの支障木伐採、浚渫を順次取り組むことになっている。

【質問】 下流地区における災害防止面から早急な要望は。

【町長】 土砂堆積による災害危険を考慮し、県に対応を要望している。

【質問】 農業用取水口付近の土砂堆積の解消は。

【町長】 農業用水利の維持管理は地元関係団体の責任でお願いしたい。町では地元からの要望により、改修工事、原材料支給、機械借上げ等に対応している。

遊休農地は

【質問】 地区別の遊休農地の現状は。

【町長】 町内全体で124haある。町の基幹産業である農業施策として、遊休農地対策、新規就農者の受け入れ体制や支援、水路の維持管理、また、稼げる農業をすすめる中でも必要不可欠な要素と考えている。

近い将来、抜本対策として

この仕組みをつくらなくてはならない。

【農林課長】 国からの指示に基づき、遊休農地が原野化



土砂堆積がみられる「泡貝川」（上条・和田）

していくものは農地台帳から外し、併せて、パトロー等への対応をしている。

農業支援施策の申請件数と新規就農者状況は

【質問】 がんばる農業応援資金利子助成金および、がんばる農業就農奨励金などに係る令和4年度の申請件数は。

【農林課長】 利用件数は197件で、この内、新規利用者の実績は24件。

【質問】 今年度、現時点での新規就農者の見込みは。

【農林課長】 5人。うち1組は夫婦。2人は里親制度活用後の就農。1人は農業の勉強をされた方の就農。

除草シートの補助の検討は

【質問】 農地維持に伴う土手の除草シートの導入は。

【農林課長】 除草シートは個々に試されている方がいる。町としては前坂ファームポンドに試験的に設置している。

【質問】 除草シート設置にかかる補助検討はできないか。提案として土手傾斜度の基準を含め、例として30〜50%の補助検討はどうか。

【農林課長】 財源確保面、シート設置後の維持管理や所有者交代等の課題がある。なお、シート耐用年数も確認する必要があり、時間をかけて検討したい。

※1 「ハブリックナカノ」をどう考えるか

町長—子育てにおける地域拠点として必要

【質問】 非認知能力をどう考えるか。

【町長】 これからの教育には非認知能力を育てる教育が必要。仕事の質というものがこれからの時代は必要で、それが脳を育て非認知能力の向上につながる。

【質問】 3学期だけ都会からスキー目的に転校するお子さんがいるのか、また、受け入れは。

【町長】 令和3年に1件、小学生2人、令和4年に1件小学生2人受け入れた実績がある。40年前に私自身も経験しており、引き続き受け入れをしたい。

【質問】 特長ある教育が山ノ内町に興味を持ち、町外者の移住につながると思うが、可能性をどう考えるか。

【町長】 「孫たちが帰ってきたくなる町へ」というキャッチフレーズの思いと実現に向けて、住むところ、働くところ、そして教育と3つの要素の基本構想で魅力的な町にすることが必要。

【質問】 特長ある教育を目指すために子ども教育課を設け、学びの場をつくるべきではないか。

【町長】 本年4月1日（こども家庭庁が発足となった）に当たって、住むところ、働くところ、そして教育と3つの要素の基本構想で魅力的な町にすることが必要。



中野市の子育て支援拠点施設「ハブリック」

【町長】 当町でも、幼児教育から小・中学校へ教育の連続性を重視し、役場内組織の見直しの検討をすすめる。

温泉公園は

【質問】 今後の日程、施設概要は。急斜面崩落危険地域の工事に伴って、アクティビティ施設の建設、住民の意見や説明について、住民主体ですすめられているか。

【町長】 令和3年4月に湯田中区長や観光連盟会長など代表者の皆さんを委員とする湯田中温泉公園整備検討委員会を設立し、4回の会議を開催し検討。県の事業で、急斜面崩落危険地域事業の地質調査や用地測量が行われ、早ければ来年ごろ工事が実施される。

スキー修学旅行は

【質問】 コロナ前のスキー修学旅行の現状と、最近の現状と累計数は。

【町長】 コロナ前となる平成30年度のスキー修学旅行の受け入れ実績は、志賀高原、北志賀高原における合計数で学校数が293校、延べ宿泊者数で12万2195人。

【質問】 もし東小学校が廃校になるなら、そこも含めて再開発の検討は。



したか しんご 志鷹 慎吾

※1 ハブリックナカノ：令和5年4月に中野市にオープンした中野市子育て支援拠点。

※2 非認知能力：意欲、協調性、忍耐力、コミュニケーション能力といった測定できない個人の特性による能力。

暑くなってきたけど、食欲は相変わらず旺盛。最近太り気味だから気をつけよう

志鷹慎吾のつぶやき

高齢者支援の充実、带状疱疹ワクチン接種の助成は

町長—サポート体制を整え、健康長寿日本一を目指したい



あぜがみ けいこ
畔上 恵子

※1 带状疱疹：水痘（すいとう）带状疱疹ウイルスによって皮膚の痛みや発疹が起る病氣。

※2 侵害受容性疼痛：切り傷・火傷・打撲・骨折などのケガをするとその部分に痛みを起す物質が発生し、この物質が末梢神経にある侵害受容器という部分を刺激することで痛みを感じるため、からだに危険を伝える痛みをさします。

「ありがとう」の一言には、不思議な力がある。人生を豊かにし、心の絆を限りなく広げる。感謝の「ありがとう」を言える自分を目指したい

畔上恵子のつぶやき

【質問】 当町における認知症対策の取り組みは。

【町長】 個別相談会、生きがいカフェ、見守りSOSネットワーク、徘徊高齢者家族支援サービス助成事業、認知症初期集中支援推進事業、認知症サポーター養成講座開催など、6つの事業を行っている。

【質問】 認知症サポートの現状は。

【町長】 当町の人口1万1420人に対して65歳以上の高齢者は4768人、うち認知症と診断されている方が後期高齢者医療被保険者で233人、国民健康保険被保険者で14人、合計24

7人、65歳以上に占める割合は5.2%。地域包括支援センター、介護サービス事業者等とともに認知症の状態に応じた適切なサービスを切れ目なく提供できるようにサポートを行っていく。

【質問】 今後の普及啓発は。

【町長】 認知症サポーター養成講座の開催および啓発ポスター等の作成、生きがいカフェの開催により、認知症に対する正しい理解の普及および啓発をすすめていく。認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みであるチームオレンジの設置においても検討をすすめていく。

【質問】 带状疱疹ワクチン接種の助成は。

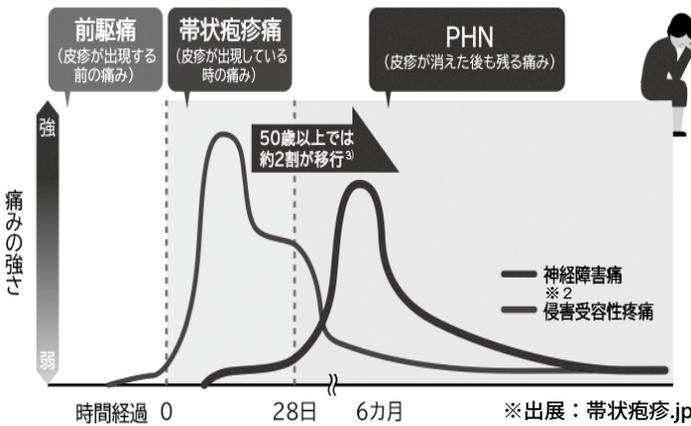
【町長】 带状疱疹ワクチンは任意接種に該当するため町として助成を行っていない。感染症法による届出疾患に指定されていないため、発症者数等、町の状況についても把握していない。発

○带状疱疹ワクチンの種類と効果

	水痘ワクチン	シングリックス®
ワクチンの種類は？	生ワクチン	不活化ワクチン
打てる人は？	50歳以上の方	
接種回数・間隔は？	1回のみ	2回 2か月以上（～6か月以内）あけて接種
どれくらい带状疱疹の発症を防げる？	51.3%	50歳以上：97.2% 70歳以上：89.8%
带状疱疹後神経痛はどれくらい減る？	66.5%	50歳以上：100% 70歳以上：85.5%
効果はどれくらい続く？	5年～10年	9年（今のところ）
どこに注射するの？	皮下注射 （インフルエンザワクチンと同じです）	筋肉注射 （新型コロナワクチンと同じです）

※出展：目黒みらい内科クリニック

○発症からの時間経過と痛みの強さ



※出展：带状疱疹.jp

町として助成を行っていない。感染症法による届出疾患に指定されていないため、発症者数等、町の状況についても把握していない。発

【質問】 物価高騰によるLPガス料金の負担軽減策は。

【町長】 新型「コロナウイルス」感染症対応地方創生臨時交付金増額分について、令和5年度分として交付限度額は9343万円。内訳は低所得世帯支援対策分として3251万円、推奨事業分として6092万円としている。低所得世帯支援分では世帯当たり3万円を支給。推奨事業としてはLPガスなどの光熱費や食料品等価格高騰重点支援分として趣旨に沿った実施を考えている。

町営住宅の通路が一部傷んでいる、早期に修繕を

町長一車椅子の方の通行に支障ないように修繕する予定

【質問】 アンケートの要望で4月上旬に担当課にお願いした。取り組みが遅いが。

【建設水道課長】 補助事業は対象外。一般財源を確保しながらすすめていきたい。

【質問】 当初予算で修繕料113万円ある。補修もアスファルトのパッチングでやれば、安くできるのでは。

【建設水道課長】 速やかに対応できるように努力したい。

【質問】 若者が住める住宅を増やす考えはあるか。

【町長】 人口減少対策の手段として、定住環境整備促進事業のほか官民連携による手法を含めて、検討中。

小学校統合問題は

【質問】 昨年3月議会で、通学距離で考えると西・南小学校の2校使用が最善であると提案した。党の町民ア



湯ノ原町営住宅通路の傷んだ状況

ンケートでも、中学校への1校統合に賛成という意見もあったが、既存の小学校を活用できるのではないかと、中学校案は敷地の狭さ・多額の費用でそんな無理をしない方がいいのではないかと

という意見が多くあった。百年の大計で、真剣に取り組みれば必ず町民合意が得られる方法があるはずだ。
【町長】 現在、教育長に教育の身をしっかりと詰めるよう、最優先事項として指示

子育て支援の まちづくり

している。これから中身の議論をすすめるながら、町民から意見を聞き、しっかりと魅力のある町の教育とをつくってすすめていきたい。
【教育長】 これまでの議論もしっかりと踏まえた上で、今年度中に結論を出すというところで、町民の皆様また現場の先生方、保護者、子どもたち自身にもさまざまなアイデア・意見を出していただけるような場づくりを教育委員会事務局として、丁寧にするしていきたい。

【質問】 子どもが遊べる場が少ない。夜間瀬川の左岸に小さいグランドやドッグランがある。そこに、子どもの遊び場はできないか。
【建設水道課長】 一級河川夜

間瀬川なので、県と協議が必要。新たな整備は考えていない。まずは、現状の環境を充分活用いただけるよう管理をすすめていきたい。
【質問】 ファミリーサポート制度の導入を。
【町長】 近隣で導入している中野市、須坂市の運営状況について伺ってきた。援助会員については、所定の研修を受講して、順次取り組んでいきたい。

【質問】 県内17町村で実施の学校給食費の無償化は。
【教育長】 実施には安定的な財源の確保が課題であり、町では別に地域食材の提供を目的に300万円、物価高騰による食材購入に200万円をあて、保護者の負担軽減を行っている。



ゆもと りこ
湯本るり子

※ファミリーサポート制度：国がすすめる行政が行う子育て支援の取り組みで、援助を受けたい「依頼会員」と援助を行う「援助会員」の相互援助活動に関する連絡・調整を行うもの。地域の支えあいでも子育て家庭の負担を軽減する取り組み。

マイナカードに関するトラブルが連日報道され、返納者もいるとか。保険証と一体化してほしいな

湯本るり子のつぶやき

浄水場取水施設の更新計画は

町長—緊急性を考慮するなかで、順次対応していく



しろとり きんじ
白鳥 金次

町長 各地区の水道施設の老朽化がすすんでいることから、現状把握および更新の必要性について、令和4年3月に水道事業実施計画を作成している。今後はこの計画を基本として取水施設など、緊急性を考慮していくなかで、順次対応していくことと考えている。なお、現時点で、緊急性が高く改修が必要な取水施設としては、東部浄水場の仏岩水源がある。今年度は水源調査を行い、今後の改修に向けて検討することと考えている。

質問 町長自ら、仏岩水源現地踏査の考えは。

町長 先日、新東部浄水場を視察した際に、いろいろな話を聞く中で、老朽化がすすんでいることを聞いたので、関係各所としっかりと相談しながら、多額なお金をかけてつくった浄水場であり、その目的としては、安全な水を安定的に届けるということであると認識している。しっかりと水源に関しても、なるべく早い調査と、安定した水を取り出せるように、取り組みをすすめていきたいと思っている。

質問 小池峠の開通は



東部浄水場仏岩水源

町長 先日、新東部浄水場を視察した際に、いろいろな話を聞く中で、老朽化がすすんでいることを聞いたので、関係各所としっかりと相談しながら、多額なお金をかけてつくった浄水場であり、その目的としては、安全な水を安定的に届けるということであると認識している。しっかりと水源に関しても、なるべく早い調査と、安定した水を取り出せるように、取り組みをすすめていきたいと思っている。

質問 東部浄水場の取水施設は、緊急性を考慮するなかで、順次対応していく

町長 東部浄水場の取水施設は、緊急性を考慮するなかで、順次対応していく

歩道整備は

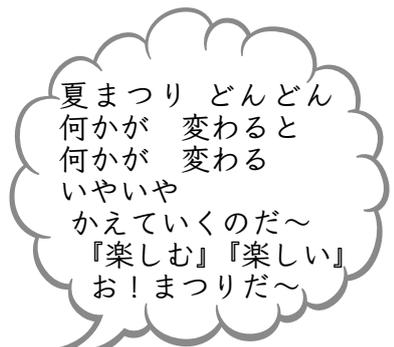
町長 歩道整備は、安全な通学路となるが、57年間要望を続けている。町としても、災害対策、観光での活性化という視点から、期成同盟会を通じて県に引き続き要望していくなかで、1年でも早い開通を目指していきたいと思っている。

質問 歩道整備は、安全な通学路となるが、57年間要望を続けている。町としても、災害対策、観光での活性化という視点から、期成同盟会を通じて県に引き続き要望していくなかで、1年でも早い開通を目指していきたいと思っている。

町長 歩道整備は、安全な通学路となるが、57年間要望を続けている。町としても、災害対策、観光での活性化という視点から、期成同盟会を通じて県に引き続き要望していくなかで、1年でも早い開通を目指していきたいと思っている。

町長 歩道整備は、安全な通学路となるが、57年間要望を続けている。町としても、災害対策、観光での活性化という視点から、期成同盟会を通じて県に引き続き要望していくなかで、1年でも早い開通を目指していきたいと思っている。

町長 歩道整備は、安全な通学路となるが、57年間要望を続けている。町としても、災害対策、観光での活性化という視点から、期成同盟会を通じて県に引き続き要望していくなかで、1年でも早い開通を目指していきたいと思っている。



白鳥金次のつぶやき

条例の制定

町長の給料 30%カット

ひらさわ岳は、まずは町長給料 **30%カット** から始めます！
 町長の年収1189万円 退職手当1581万円 4年で計6339万円！
 (山ノ内町中より換算・計算)

身を削ってこそ、改革です。

1 開かれた町政を！
 住民参加型の町政推進を推進

2 子育てしやすい町づくり
 保育園・給食費無料化を推進します！
 子供教育とスポーツ環境を整えます！

3 稼げる農業へ
 ブランディングと付加価値創出！
 労働力不足などの問題解決

4 経済活性化
 しっかり
 流入人口増加5割増を！
 ふるさと納税増進、町の施設アップ

5 健康長寿日本一を目指します！
 町内公共交通網の再整備をします
 スポーツと医療で健康寿命の町へ

6 自らセールス
 観光立町の復権！
 観光産業の20%増を目指し、
 案内所再整備、世界へ山ノ内町をPR

ふるさと納税倍増化
 計画で予算作り！

ひらさわ岳 がく

(町長選挙公報より)

町長の給与の特例に関する条例の制定

町長選の公約として町長給料月額を5年4月1日から当分の間、30%を減額するものです。期末手当、通勤手当、寒冷地手当および退職手当には適用しません。

町長給料月額は77万5千円を30%カットの54万3000円(年間では277.8万円減)に減額します。総務産業常任委員会に付託されましたが、重要な条例であるため、社会文教常任委員会と連合審査を行いました。

本会議ではそれぞれの立場から賛成・反対の討論がありました

町長の給与の特例に関する条例の制定

反対討論

小林 克彦

1. 給与減額の目的が明確でない。公約に「身を削ってこそ改革」とあるが改革に中身は示されていない。

2. 提案された条例は月額給料のみを30%カットするものであるが、公約には年収・退職手当等とあり、月額給料の記載はない。そもそも、町長の現行給与額が高いと考えるのであれば、まず特別職報酬等審議会に諮問することガルールである。

賛成討論

徳竹 栄子

町長公約給料30%カット。給料とは毎月固定の基本給のみ。給与と明記でないで期末・退職手当等は含まれない。公約と本条例とは整合性があり問題はないと判断した。

給料カットの理由は、コロナ禍で経済的に厳しい業種があり、町の経済が活性化するまで身を削り頑張る覚悟を示したもの。町・町民に対する熱き想いと決意を尊重すべきと考える。公約を果たす意思を評価し賛成する。

※特別職報酬等審議会

町長の諮問に応じて、特別職(町長、副町長、教育長、議会議員など)の報酬、給料の額について審議するため、公共団体等の代表者や住民のうちから任命し、意見をお聞きする審議会

反対討論

白鳥 金次

条例の制定については、選挙公約であるので評価する。しかしながら、公約の表記を見て、私は、記載事項とのあいだに、違和感を感じる。例えば「適切なかどうかだが、「季下」に冠を正さず、「瓜田に履を納れず。」

このようなことを感じないよう、すずめていただくことを願います。改めて、公約の実行に向けて、次回例会において年収を盛り込んだ条例を、再度提出していただくことを強く要望する。

賛成討論

小田 孝志

1. 後援会、区の役員、知人等、限られた時間の中でできるだけ多くの町民の声を聴いた。若干の解釈の相違はあったものの全員賛成を得た。

2. 町民にとって不利益となる事案ではない。

3. 町長の公約実現に向け、身を削って改革に臨みたいという確固たる信念を持った堂々たる決意表明とし、評価したい。

令和5年度一般会計補正予算(第2号)

賛成討論

山本 光俊

ガバメントクラウドファンディングを用いて「書かない窓口」の構築などDX推進事業の財源確保につとめ、ふるさと納税自動販売機の導入、国の制度を利用し人材確保をはかるなど新規事業に取り組み姿勢は評価する。ただし観光局設立の準備室を一般財源から200万円超を投じ「外部」に事務所を構える必要性は全くない。庁舎内に設置することは十分可能であることから再考することを強く要望する。

賛成討論

渡辺 正男

国内外への町長トップセールス、町長用公用車のEV車化、地域公共交通のAIデマンドの実証実験、地域活性化起業者4人、地域おこし協力隊員2人など新たな人材の積極的活用、観光局設立準備など新町長らしい前例踏襲ではない積極性の感じられる補正予算。夏まつりに出席予定の自衛隊VR体験は、子どもたちも集まる場にふさわしいものとはとても思えない。この部分だけは見直しを。

総務産業常任委員会

6月21日、7人の委員全員で管内視察を行いました。今回は視察場所が多く、丸1日かけ10か所しっかり視察しました。

を改善すべきか

管内視察報告

新東部浄水場建設工事

工事はほぼ完了、10月の供用開始を目指し沓野原地区の水道仮設管撤去、および舗装の復旧工事をすすめています。東部地区全域と西部地区の一部に給水予定であり、円滑な運用に期待します。

一方、取水施設の仏岩水源は老朽化がすすんでおり、改修に向け早急な対応が求められます。



旧社会体育館解体跡地

奥の急傾斜工事は県で実施し、今年度は調査を行います。湯田中温泉公園建設の予定地となつ

ており、今後まちなみ整備事業との一体的な検討が必要です。



farno設置水田（沓野）

水口・田水位のコントロールド機器。水位は水位計にて設定可能。1台8万円、補助2万5千円。電波通信料はメーカー負担親機をWiFiでコントロールします。

特定空き家解体予定家屋（上条）

道路通行への影響や用水路への屋根・壁材の落下等があり、応急対策を実施。建物は5棟あり、母屋等の劣化が顕著で倒壊寸前のため、早急に解体が必要

です。解体後の手続きを含めた対応も重要です。



岳南広域消防本部

通信指令システムについて説明を受けました。基本的に24時間3人体制で、事案によって本部等の応援を得て対応。防災ヘリやドクターヘリは、入電と並行して対応しています。



屋内ゲートボール場

愛好者の減少でゲートボール利用は少なく、キッズサッカー等ができるよう窓への防球ネット設置を今年度予定。

泡貝川（上条地籍）

全体的に堆積土砂が多いことを確認。寺堰取水口付近の土砂を浚渫しない限り河床が盛土状態にあり、堰上げしても土砂が入ってきてしまいます。早急な対応が求められます。



他、LED化工事を実施した道の駅情報物産館、観光局設立準備室家屋、観光連盟湯田中駅事務所および改札状況、上条和田峠の恒久電柵を視察しました。

社会文教常任委員会

6月21日に社会文教常任委員7人で、健康福祉課と教育委員会に関係した施設を学ぶため、管内視察を実施しました。



志賀高原ロマン美術館

1998年に開かれた長野冬季オリンピック・パラリンピックを記念して1997年に開館しました。世界的な建築家、故黒川紀章氏の設計によるもので会館内の高い天井とシックな壁が迎えてくれます。令和4年度は5463人、今年度、徐々に老朽化がすすみ雨漏りするところが増えているため、建物修繕が検討課題です。

廃プラスチック類とリサイクルの工程(容器)

すべての人々が、それぞれの立場でリサイクルの役割を担う「ゴミ」を、再び「資源」へと生まれ変わらせるには、分別をきちんと行っていく必要があります。現在、豊田興産では、一次選別↓二次選別↓保管↓梱包物(ボール)を製作しており、車両1台で平均約32ボール、月に約6tを搬出しています。



北信斎場たびだちの森

平成28年5月1日、中野市豊

津に建設費14億6千万円でつくられ、供用開始となりました。敷地面積 約2ha、地上1階、地下1階の建物で、最新の設備と広い駐車場が完備されています。視察当日は施設が休館日だったこともあり、普段は決して見られない火葬炉の制御盤も見学することができました。



東山クリーンセンター

平成10年4月の稼働開始以来毎日130tのごみを焼却処理しています。現在、ごみの高力ローリ化に対応した燃焼装置への形式変更、予熱利用として蒸気エネルギーを最大限に回収可能とする復水式蒸気タービン発電機の導入など、効率的な運転と維持管理を行い、私たちの生活を支えています。

東小学校

(ユネスコスクール認定)

明治6年、盛明学校の支校として開校、本年150年の節目を迎えました。教育基本目標は、個性の尊重と発達に応じた学力向上、ESDの推進、地域とともにある学校づくりに取り組んでいます。本年度6年生は、コロナ規制が緩和され東京への修学旅行を実現しました。学校施設の面ではトイレの改修工事、体育館入り口の雨漏り等、課題もあります。



その他、給食センター、特別養護老人ホーム(いで湯の里)を視察訪問しました。

皆さんからの 請願・陳情

受理番号	件名	陳情者	採決結果
陳情第3号	介護保険制度の改善を求める陳情書	長野県社会保障推進協議会 代表委員 細尾 俊彦 宮澤 裕夫 清水 信明 小林 吟子 松丸 道男 北沢 忠	採択 全会一致 (意見書送付)
陳情第4号	国に対しインボイス制度の延期・見直しを求める陳情書	インボイス制度を考える フリーランスの会 阿部 伸	不採択 賛成4人 反対9人
陳情第5号	『最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書』の採択を求める陳情書	中高地区労働組合連合会 議長 村松 卓広	採択 賛成12人 反対1人 (意見書送付)

陳情第4号 インボイス制度延期・見直しを求める陳情書

「不採択すべきもの」との委員長報告に対する反対討論

湯本るり子

インボイス制度は零細企業を廃業に追い込む。新制度になれば、親会社は免税事業者から以前の請求書と領収書では仕入税額控除ができず、自社の消費税納税額が増えるため、下請けに「事業登録番号をもらい課税事業者になれ」と強要せざるを得ない。実際は個人タクシー・塾の講師・農家等々に影響がでる見込みで、制度が複雑で弱い者いじめとなるインボイス制度導入の延期見直しを求めます。

議会全員協議会

第6回（6月1日）

(1) 執行機関側からの提出案件

- ①令和4年度一般会計補正予算(第11号)について
- ②令和4年度一般会計補正予算(第12号)について

(2) その他

(2) 議会側からの提出案件

- ①議員活動におけるコンプライアンスについて
- ②その他

第7回（6月13日）

(1) 執行機関側からの提出案件

- ①低温と霜による被害状況について
- ②分譲地造成及びアパート建設支援補助事業について
- ③（仮称）山ノ内観光局設立に向けて
- ④令和5年4月23日執行山ノ内町議会議員一般選挙に係る事務について

第8回（6月27日）

(1) 議会側からの提出案件

- ①議長諮問について
- ②令和5年度町村議会議員研修会について
- ③議員活動におけるコンプライアンスについて
- ④教育委員会との懇談会について
- ⑤6月議会の一般質問の発言内容について
- ⑥先例集について
- ⑦その他

議会活性化を諮問



6月27日に湯本議長から山本光俊議会運営委員長に諮問がありました。議会が住民の皆様にとってより効果的に機能するよう早急に検討に入ります。

1. 諮問事項

- (1) 議会としてのあるべき姿について
 - ① 町民に対しての信頼回復をもたらすためには何をすべきか
 - ② なり手不足解消につなげるために、我々がやらなければならないことは
 - ③ 議会としての存在意義と共に、今どこに重きを置くべきか
- (2) 議会のDXについて
 - ① タブレットの導入をすすめる検討
 - ② 議会運営の効率化、事務局の負担軽減につなげるためには

2.

答申期限

令和7年3月末までに

議会議員 コンプライアンス 研修会を開催

7月28日に第一法規主催のオンラインセミナーに、議会議員全員で参加をしました。

講師は帖佐直美弁護士で、「これだけはやってはいけない、議員活動の注意点セミナー」と題して、議場での発言や行動だけでなく、日頃の議員活動におけるSNSの利用やハラスメントのコンプライアンス問題、議員としての活動に関しての注意点など、知ってほしいけれど、改めて確認したい学びべき内容を、解説いただきました。



全県町村議会 議員研修会に参加



7月14日 松本市のキッセイ文化ホールにて、毎年恒例の長野県町村議会研修会が開催されました。「議員のなり手問題と住民参加」や「これからの少子化対策」という2つのテーマでそれぞれの講師から講演を受けました。

最初のテーマでは、全国町村議員選挙区で373選挙区のうち123町村が無投票であり、過去最高の30%にあたる1250人が無投票という実態がありました。

また、県内では58町村のうち、26町村が無投票であり、約45%にまでのぼる結果となりました。

次のテーマである少子化対策では、合計特殊出生率が全国平均1.3人まで落ち込んでいる背景や、若者人口の約2割が東京に集中していることと、人工妊娠中絶が16万件にもものぼり、産

みたい女性への支援策が十分ではないことが問題との説明を受けました。

また、都市部へ流出する女性の背景として、田舎ほど暮らしづらい現状が浮き彫りとなったと説明がありました。
※合計特殊出生率…人口統計上の指標で、15～49歳までの既婚・未婚を問わず全女性の年齢別出生率を合計したもので、女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」を意味する。一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子ども的人数に相当する。



玉村町議会が来町

8月7日 群馬県玉村町議会の総務経済常任委員7人と事務局3人が管外視察に来町され、新東部浄水場を視察しました。湯本議長から歓迎のあいさつがあり、浅見委員長からも、「これから玉村町水道施設の更新が控えており、参考にしたい」と視察受け入れ感謝のあいさつがありました。

編集後記

夏本番の7月は、線状降水帯の大雨から各地で災害が多発。また環境破壊が一因とされる「北極圏の氷が溶け海面が上昇」という新聞が目に入った。8月も残暑厳しく、熱中症に気を付ける毎日です。気候に左右されるのは農産物に限ったことではないですね。地球や人間が悲鳴をあげているご時世、されど四季は巡り来る。秋には、当町の誇れる、りんご・ぶどう・米・そばなどが実り豊かに収穫できることを願う。

収穫された農産物や地元産オリジナルの食材など活かして9月9・10日 須賀川そばの花まつり・10月29日新そばまつり、そして10月21日、温泉ガストロノミーウォーキングが開催される。

改めて思う 自然とは災害と恵みをもたらす計り知れないものだ。

(徳竹栄子 記)